

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第5区分
【発行日】令和6年4月30日(2024.4.30)

【公開番号】特開2023-51373(P2023-51373A)
【公開日】令和5年4月11日(2023.4.11)
【年通号数】公開公報(特許)2023-067
【出願番号】特願2021-161992(P2021-161992)
【国際特許分類】
 B 6 2 M 6/55(2010.01)
【F I】
 B 6 2 M 6/55

10

【手続補正書】
【提出日】令和6年4月19日(2024.4.19)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0026
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【0026】

【図1】実施形態の人力駆動車用のコンポーネントの側面図である。

【図2】図1のD2-D2線に沿う断面図である。

【図3】図2の第1基板と第2基板とが対向する部分を拡大した断面図である。

【図4】図2の人力駆動車用のコンポーネントおよびバッテリーの電氣的な構成を示すブロック図である。

【図5】図3の第1基板、第1コイル、モータの出力軸、および、第1軸部材を、第1方向から見た場合の模式図である。

【図6】図3の第2基板、および、第2コイルを、第1方向から見た場合の模式図である。

30

【図7】図2および図3の第1基板、第1コイル、モータの出力軸、第1軸部材、第2部材、第2基板、および、第2コイルを第1方向から見た場合の模式図である。

【図8】図2および図3の第1基板、第1コイル、第1電子部品、第2部材、第2基板、および、第2コイルの位置関係を示す断面図である。

【図9】第1変形例の第1基板、第1コイル、第1電子部品、第2部材、第2基板、第2コイル、および、第3基板の位置関係を示す断面図である。

【図10】第2変形例の第1基板、第1コイル、第2部材、第2基板、および、第2コイルを第1方向から見た場合の模式図である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

ワンウェイクラッチ66は、人力駆動車を前進させるように回転中心軸心Cまわりにクランク軸40が回転する場合に、クランク軸40の回転力をモータ42に伝達しないように構成される。例えば、ワンウェイクラッチ66は、ローラクラッチを含む。例えば、ワンウェイクラッチ66は、第2歯車52Bの内周部と出力回転軸44の外周部との間に設けられる。ワンウェイクラッチ66は、爪式クラッチ、または、スプラグクラッチを含んでいてもよい。

40

50

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0049】

モータ42の出力軸42Aの回転力は、減速機構52の第1歯車52Aに伝達される。第1歯車52Aに伝達されたモータ42の出力軸42Aの回転力は、第1軸部材52Cを通じて第2歯車52Bに伝達される。第2歯車52Bに伝達されたモータ42の出力軸42Aの回転力はワンウェイクラッチ66を通じて、出力回転軸44に伝達される。

10

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0083

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0083】

・第2部材36は、第1部材34の径方向外側を囲むように構成されていてもよい。第2部材36が、第1部材34の径方向外側を囲むように構成される場合、例えば、第1部材34はハウジング38に代えてハブ軸を含み、第2部材36は、クランク軸40および出力回転軸44に代えて、ハブシェルの含む。第2部材36が、第1部材34の径方向外側を囲むように構成され、第1部材34がハウジング38に代えてハブ軸を含み、第2部材36が、クランク軸40および出力回転軸44に代えて、ハブシェルの含む場合、例えば、コンポーネント20は、人力駆動車用のハブユニット、人力駆動車用の内装変速機、および、人力駆動車用のハブモータの少なくとも1つを含む。

20

30

40

50